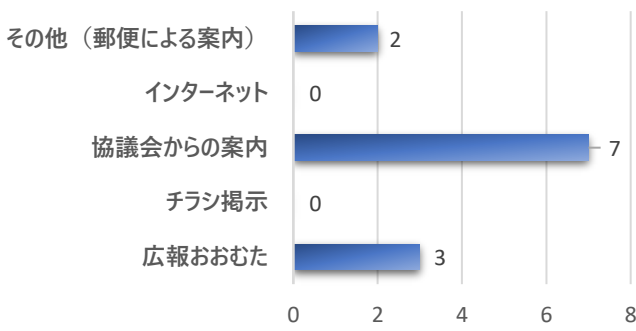
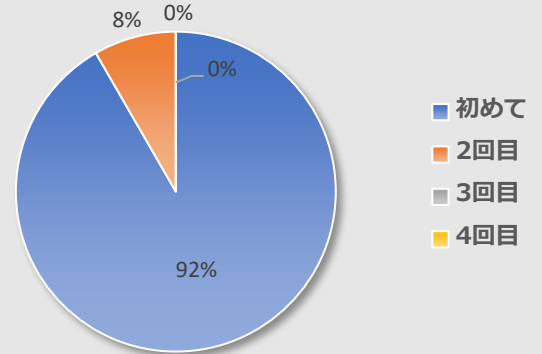


(1) 相談会はどのようにして知りましたか (n=12)



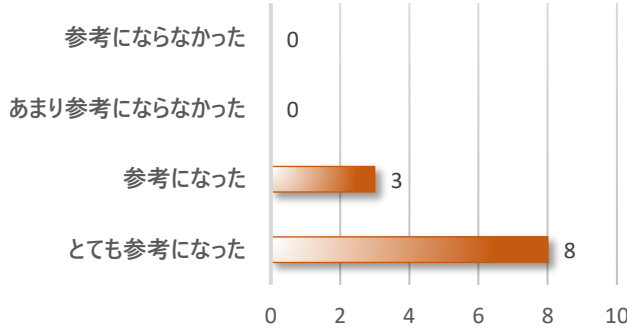
開催周知については協議会からの案内が最も多く、次いで広報おおむたが効果的である。切手代や作業手間はかかるが、次回以降も丁寧な周知方法が必要である。

(2) 今回の相談会は何回目の参加ですか？ (n=12)



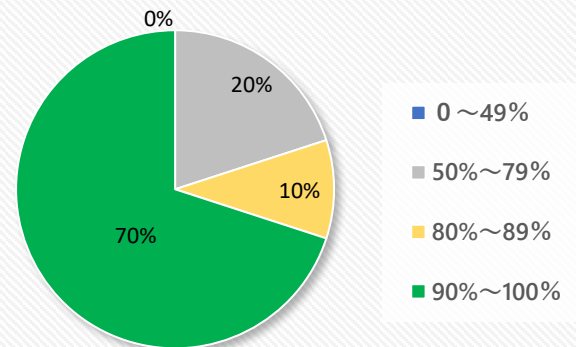
8月の相談会同様、今回も「初めて相談する」が9割を占めた。空き家問題がマスコミなどで取り上げられている背景もあり、少しずつではあるが、空き家問題に対して所有者の意識が変化してきたと思われる。

(3) 相談会の対応はいかがでしたか？ (n=11)



対応については、毎回「とても参考になった」との意見が多数を占める。相談対応する専門職のスキルの高さがうかがえる。

(5) 今日の相談会の満足度を教えてください (n=10)



満足度については、8割弱の方から80%以上の評価を得ている。一方で、具体的な業者を紹介してもらえなかったや解決の糸口が見えなかった人にとっては、評価が低かった。

(3) 相談会の対応はいかがでしたか？ (自由記述)

- ・古い家の処理等についていろいろと相談する機会がなかったが参加できてよかった。→満足度80%
- ・行政で紹介できない業者について聞いたため、相談会だけでは解決しなかった。→満足度50%
- ・思った通りにならない。1回目でもよくわかりました。また相談したいです。→満足度50%

(4) 相談会について気づかれたことを何でもご記入ください。(自由記載)

- ・意外と相談員の人が多かった。
- ・専門的なところがわからない。→満足度記載なし。
- ・親切に対応してくださいました。
- ・相続の簡素化を望む(国に)・説明会の連絡、大変助かっております。
- ・いい制度だと思います。継続をお願いいたします。

【雑感】

- ・空き家問題は、所有者がどうかしなければ！という切迫感がないのが現状である。しかしながら今回は、広報周知(郵送、広報おおむた)を始めてわずか2~3日で12組の枠が埋まるといった状況であった。×切以降の希望者には、連携する専門職との連携により、決して断ることなく事務局で対応することとした。これは、協議会組織が様々な専門職により構成されていることにある。
- ・市内の空き家ボリュームに対して、相談件数はわずかではあるが、申し込み状況から推察すると、空き家問題に対する意識が向上したように思えた。
- ・空き家は権利関係など時間がたてば経つほど問題が複雑化、高度化することが言える。空き家が抱える様々な問題を、広く市民に周知し、継続した無料相談会の開催の必要性を感じた。